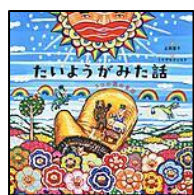


○今月の新しい本からおすすめの本を紹介します♪

1・2年生むけ



『たいようがみた話』

まさおか けいこぶん
正岡 慧子文, ミヤザキ ケンスケ絵

ゆきがふるもりのこみちに、てぶくろがひとつ、おちていました。ねずみやかえる、うさぎなど、たくさんのどうぶつたちが、てぶくろのなかにもぐりこみ…。ウクライナ「てぶくろ」、東ティモール「島になったワニの話」など、5つの国の昔話がのっています。

3・4年生むけ



『ベンチのゆうれい』

マージョリー・ワインマン・シャーマン作, 小宮 由訳, 早川 世詩男絵

むかしむかし、ある公園に古いベンチがありました。ある夜、ベンチの上に、ふたりのゆうれいが、うかんでいました。ひとりのゆうれいは、男の子でベンジャミン、もうひとりは女の子でジャスミンといいました。「ねえ、きょうは、朝までなにをする？」ふたりはかつてこのベンチでおこったできごとのお話をすることに。さいしょのお話は…。

5・6年生むけ

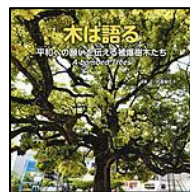


『南極犬物語』

あやの まさる著, くまおり 純絵

1956年、南極へ出発した観測隊には、22頭のカラフト犬が参加していました。その中には生後10か月のタロとジロもいました。だけど、南極では悪天候が続き、隊員たちは泣く泣く犬たちをおきざりにしました。1年後、隊員たちが昭和基地にもどってくると、そこには2頭の犬のすがたが…。

全学年むけ



『木は語る』

すぎはら りえ こしゃしん ぶん
杉原 梨江子写真・文

1945年8月6日、広島に原子爆弾が落とされました。被爆地には70年間、草木も生えないと言われましたが、翌年の春、焼け野原で多くの木が芽を出したのです。人々に生きる希望をあたえた被爆樹木は、今も広島市の街で生きています。

○今月の特集展示から、イチオシの本を紹介します♪



『ルリユールおじさん』

いせ ひでこ作

ある朝、大切にしていた植物図鑑がこわれてしまいました。「だいじな本ならルリユールのところへいってごらん」女の子はパリの街をルリユールおじさんをさがして歩きます。本はルリユールおじさんの手によって修復され、じょうぶに装丁され、ふたたび新しいいのちを得て、すばらしい本に生まれかわっていきます！



『きょうはハロウィン』

ひらやま てるひこ
平山 暉彦さく

ケンちゃんは、アメリカにひっこしてきました。ハロウィンのよる、ケンちゃんのいえにおばけがきて、「トリック・オア・トリート！おかしなことをしなさい！」「おかしなことをしなさい！」と叫びました。こどもたちが、おばけのかっこうをして、おかしをもらいながら、あるいてまわっているのです。ケンちゃんもおばけのなかまになりして…。



『どうぶつニュースの時間』

あべ ひろしらく
あべ 弘士作

まもなく、ご7時。「D T V どうぶつニュース」の時間です。シドニーからの中継と、ヒマラヤ・ネパールの特集を、アナウンサー森野こりすがお送りします。

ほかにもたくさんの本が まっているよ。

中間市民図書館に ぜひ来てね！

